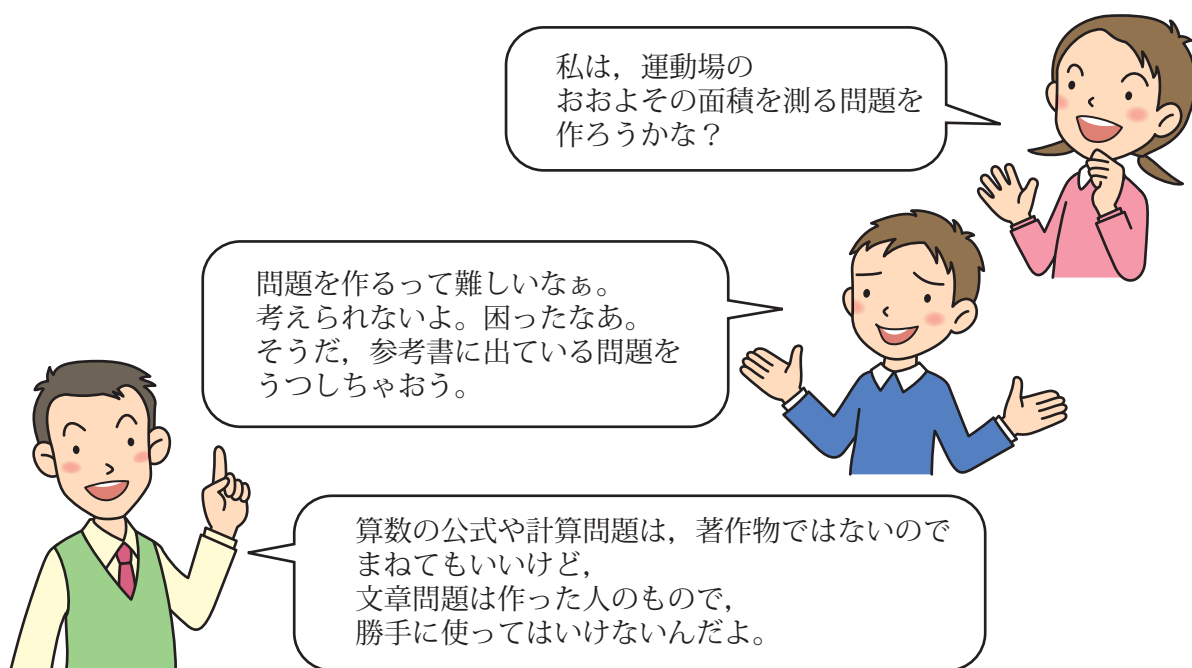


文章問題を作るとき、 参考書や友だちの問題を無断でうつす

算数
5・6年

今までに学習したことを使って、算数の文章問題を自作させる学習場面を想定した事例で、「段階的指導モデル」の「A」と「C」に該当する事例である。

5分の指導でモチベーションが高まる



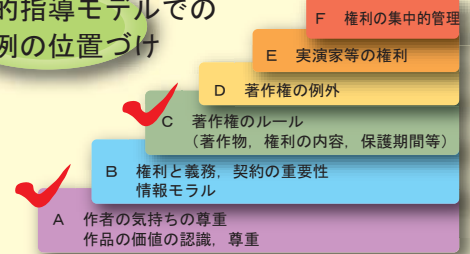
「著作権教育」の学習のねらいと指導のポイント

- 算数の文章問題は考えた人のものであり、勝手に使ってはいけない
- 公式や計算問題は著作物ではないので複製することに了解を得る必要はないが、文章問題の場合には、作者の工夫や苦勞が込められていることに気づかせる。
- 参考にするのはいいが、そのままうつしてはよくないことを理解させる
- 文章問題を考えることが学習であり、オリジナルの文章問題を作ることに価値があることを理解させる。

他の教科への応用例

- 国語での作文や詩、俳句などの創作

段階的指導モデルでの 本事例の位置づけ



もっと時間をかけて、ていねいに指導する場合には

学習内容	教師の発問と子どもの反応	留意点
<ul style="list-style-type: none"> ● これまでに学習してきたことを使って、自分で問題を作らせ、問題をクラスみんなで交換させて解き合うことにする。 	<p>発問例：算数の文章問題をつくるときに、いろいろと参考にして考えることは、とてもいいことです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を参考にする。 ・参考書やドリルの問題を参考にする。 ・友だちの作った問題を参考にする。 	
<ul style="list-style-type: none"> ● いろいろなものを参考にするときの注意について考えさせ、話し合う。 	<p>発問例：参考にしてもいいなら、まねてもいいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのまま、まねてはよくない。 ・でも計算問題は同じ問題をよく見かけるが……。 	
<ul style="list-style-type: none"> ● 文章問題が著作物であること。したがって子どもが作ったオリジナルな文章問題にも著作権があることを知らせる。一方、公式や計算問題は著作物ではない。また、解き方や勉強の方法にも著作権はないので、いい解き方をまねるのは、力がつく正しい勉強法であることを話し合う。 	<p>発問例：どうして文章問題はまねてはいけないのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で作るのには、いろいろ工夫や苦労があったのに、人のまねをするのはずるい。 ・苦労して考えた人が、無断で使われてしまったらいやな気持ちになる。 <p>問題を考えて作るって大変だね。自分で作ったものには、苦心が込められているのです。自分で考えて問題を作ることは、とてもすばらしいことです。また算数の力がつきます。</p>	

この事例の実践に参考となる教材・資料

文化庁「楽しく学ぼうみんなの著作権」（小学生のための著作権教材 真似してかいたらいけないの？ コピーしてはいけないの？）

<http://chosakuken.bunka.go.jp/tanoshiku/>



文化庁「著作権なるほど質問箱」（「引用」で検索）

<http://chosakuken.bunka.go.jp/naruhodo/>

